

甘味資源作物産地生産体制強化緊急対策事業
かんしょ生産性向上緊急支援事業
(かんしょ重要病害虫対策事業)

事業実施計画書

事業実施年度	令和○年度
事業実施主体	
県・市 町 村	
地 区 名	

かんしょ作付面積：	ha	サツマイモ基腐病発生ほ場面積：	ha	うち収量3割以上減ほ場面積：	ha
うち青果用：	ha	うち青果用：	ha	うち青果用：	ha
うち焼酎用：	ha	うち焼酎用：	ha	うち焼酎用：	ha
うちでん粉原料用：	ha	うちでん粉原料用：	ha	うちでん粉原料用：	ha

[illegible]

- 1

第4 事業の成果目標

1 事業実施地区における被害状況と対策

病虫害被害の種類	被害状況と対策

- (注) 1 「病虫害被害の種類」の欄には、事業の対象となる病虫害名を記載すること。
2 「被害状況と対策」の欄には、事業実施地区における現在の被害状況等を踏まえ、どのような対策を行うのか、具体的に記述すること。

2 具体的な成果目標

成果目標	(重要病虫害が発生したほ場の10 a 当たり収量の10%増加、重要病虫害が発生したほ場面積の割合を10ポイント以上削減)			
目標値	現状値 (○年度) :	○ t /10a又は○%	目標値 (○年度) :	○ t /10a又は○%
	(防除用機械の導入に取り組む場合)		目標値 (○年度) :	○ t /10a又は○%
	(多作物への転換または輪作の実証に取り組む場合)		目標値 (○年度) :	○ t /10a又は○%
目標数値決定根拠				
具体的な取組	(取組例) ○被害が著しいほ場を対象とした取組のうち次期作への対策 ・土壌消毒剤の購入費 (○ha) ・土壌消毒に使用する被覆資材の購入費 (○ha)			
事業評価の検証方法 (実績値の算出方法)	○年産の実績により検証。			
みどりの食料システム法 に基づく計画認定の有無	有 ・ 無	地域計画策定の有無	有 ・ 無	

- (注) 1 「具体的な取組」の欄については、目標に対応した具体的な値、取組内容、予定規模を記入すること。
2 「事業評価の検証方法」の欄については、具体的な検証方法を記入すること。

第5 事業実施主体

1 事業実施主体の概要

名称 (設立年月日)	所在地	構成員	
		氏名	所属・職名
○○生産組合 (○年○月○日)		○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○	J A○○事業本部 本部長 ○○でん粉工場 代表

2 協力機関

区分	組織名	担当業務
地方公共団体	○○県	
民間団体	○○組合	

- (注) 事業実施主体の構成員に含まれている組織は除くこと。

第6 事業全体の実施スケジュール

事業の実施時期	取組の内容
(年度) 月 月 月 月	

(注) 「取組の内容」の欄には具体的取組を記述し、必要に応じて補足資料を添付すること。また、上記内容が分かる資料の添付に替えてもよいこととする。

第7 事業内容及び事業費等

(単位：千円)

事業項目	事業費		積算根拠 (単価×数量等)	備考
		うち国費		
1 ほ場の残渣処理				
2 ウイルスフリー苗及び健全な種いもの利用				
3 苗及び苗床の消毒				
4 種いも及び苗の罹病検査				
5 トンネル栽培等早期栽培の推進				
6 防除用機械の導入				
7 薬剤の散布				
8 堆肥の散布				
9-1 土壌消毒				
9-2被覆資材の導入				
9-3他作物への転換				
9-4輪作の実証				
合 計				

(注) 1 事業に取り組まない事業項目については、表から削除すること。
2 備考欄には想定している被害規模等を記載すること。

第8 導入機械の規模決定根拠等（防除用機械の導入、輪作の実証の対策）

1 規模決定の根拠

機械の種類	受益面積 (ha) ①	導入機械の1時間当たり作業能力 (ha／時間) ②	一日当たり作業可能時間 (時間／日) ③	1作期当たり作業可能日数 (日) ④	年間作業可能面積 (ha) ⑤＝②×③×④	必要台数 (台) ①÷⑤	備考
					0	#DIV/0!	
	②、③、④の算出根拠						
					0	#DIV/0!	
	②、③、④の算出根拠						

2 導入機械等保管場所

農業機械等名	農業機械等の保管・設置場所	導入時期	備考
		年 月	

3 動産保険等の内容

--

4 農業機械のリース事業者等選定方法の計画

リース事業者等選定方法

(注) 一般競争入札、指名競争入札等、リース事業者の選定方法の計画を記載すること。

5 リース料助成額

農業機械等名（型式）						備 考	
リース期間	開始日～終了日（※1）		～		(日)		
	リース借受日から〇年間（※2）				(年)		
リース物件取得予定価格（消費税抜き）		①				(円)	消費税： 円
リース期間終了後の残存価格（消費税抜き）		②				(円)	
リース料助成申請額（注2）		③				(円)	（リース諸費用内訳）
リース諸費用（金利・保険料・消費税等）		④				(円)	保険料： 円 固定資産税： 円
機械利用者負担リース料（税込み）		⑤				(円)	金利： 円 消費税： 円

- (注) 1 ※1及び※2については、いずれかを記入すること。
- 2 リース料助成申請額③は、A、Bいずれか小さい額を記入すること（千円未満は切り捨て）。
- A：（①×（リース期間/法定耐用年数））×1／2以内
- B：（①－②）×1／2以内
- 3 複数の農業機械等をリースする場合は、欄を適宜追加して記載すること。
- 4 機械納入業者の見積書の写し（2社以上）、リース期間、残価設定額、リース諸費用、リース料金等が確認できる資料の写し等を添付すること。

6 オープンAPIへの対応（トラクターを導入又はリース導入する場合）

導入又はリース導入するトラクターのメーカーが、APIを自社webサイトや農業データ連携基盤に表示すること等を通じて、データを連携できる環境を整備しているかどうか確認の上、以下の該当する□にチェック。

☐ 整備している（又は整備する見込みである）

☐ 整備していない

【参考】

APIを自社webサイトや農業データ連携基盤に表示すること等を通じて、データを連携できる環境を整備している、又は整備する見込みである農機メーカー（令和4年11月1日時点農林水産省調べ）

国内メーカー：井関農機株式会社、株式会社クボタ、三菱マヒンドラ農機株式会社、ヤンマーアグリ株式会社

海外メーカー：AGCO Corporation(Fendt、MASSEY FERGUSON、Valtra)、CLAAS KGaA mbH、CNH industrial N.V (Case IH、New Holland、Steyr)、Deere & Company(John Deere)、SDF group(SAME、DEUTZ-FAHR、Lamborghini)

(注)

農機データを取得するシステムを備えたトラクターを製造していないメーカーの製品を導入する場合は、これに当たらない。

整備していないにチェックがついた場合は、整備しているメーカーのトラクターに変更すること。農機データを取得するシステムを備えたトラクターを製造し、データを連携できる環境を整備していないメーカーのトラクターの導入を希望する場合は、別途その理由書を添付するものとする。

第9 経費の配分及び負担区分

事業名	総事業費 (A+B+C)	負担区分			備考
		国庫補助金 (A)	事業実施主体 (B)	その他 (C)	
かんしょ重要病虫害対策事業	円	円	円	円	
合計					

(注) 「備考」の欄には、仕入れに係る消費税相当額について、これを減額した場合には「除税額〇〇〇円うち国費〇〇〇円」を、同税額がない場合には「該当なし」と、同税額が明らかでない場合には「含税額」と記入すること。

第10 収支予算（又は精算）

(1) 収入の部

区分	本年度予算	前年度予算	比較		備考
			増	減	
国庫補助金 その他	円	円	円	円	
合計					

(2) 支出の部

区分	本年度予算	前年度予算	比較		備考
			増	減	
	円	円	円	円	
合計					

- 第11 添付書類（添付しない書類名は削除すること。）
- (1) 定款、寄附行為等主に営む事業内容が確認できる書類及び収支予算（又は収支決算）を添付すること。
 - (2) 事業費の積算根拠添付資料を添付すること。
 - (3) 導入農業機械の規模決定根拠資料、カタログ等を添付すること。
 - (4) みどりの食料システム法に基づく認定計画がある場合は、環境負荷低減事業活動実施計画、特定環境負荷低減事業活動実施計画、基盤確立事業実施計画のいずれかを添付すること。
 - (5) 地域計画（農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号。）第19条に規定する地域計画をいう。）が策定されている場合は、それがわかる資料を添付すること。
 - (6) その他地方農政局長等が必要と認める資料を添付すること。

第12 受益農家一覧

1 被害が著しいほ場を対象とした取組

	受益 経営体	サツマイモ基腐病の被害がなかった 直近の年産			当年産					次年産				備考
		作付面積	総出荷量	10a当たり収 量 (A)	総作付 面積	被害が著しいほ場（30%以上の減収）				取組面積				
						作付面積	出荷量	10a当り収 量 (B)	減収率 (1-(B÷A))×100	土壌 消毒	被覆資材導 入	他作物 への転換	輪作の実証	
		a	kg	kg/10a	a	a	kg	kg/10a	%	a	a	a	a	
1				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
2				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
3				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
4				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
5				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
6				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
7				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
8				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
9				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
10				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
合計		0	0		0	0	0			0	0	0	0	

(注) 1 「備考」の欄については、課税売上高が1千万円以上の者には○を記入すること。

2 農家数が10人を超える場合は、適宜欄を追加して記入すること。

2 機械の導入（防除用機械の導入、輪作の実証の対策）

	導入機械名	型式・規格・能力	導入台数（台）	受益経営体名	受益面積(ha)	うちでん粉原料用かんしょ（ha）	オペレーター	備考
1								
2								
3								

(注) 1 「備考」の欄については、受益農家のうち課税売上高が1千万円以上の受益農家には○を記入すること。

2 様式が不足する場合は、適宜欄を追加して記入すること。

3 「オペレーター」欄は、オペレーターに○を付すこと。